



## 2024年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2024年5月13日

上場会社名 ソフトマックス株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 3671 URL <https://www.s-max.co.jp>  
 代表者（役職名）代表取締役社長（氏名）堀江 俊郎  
 問合せ先責任者（役職名）執行役員管理本部担当部長（氏名）中島 正弘（TEL）(099) 226-1222  
 四半期報告書提出予定日 2024年5月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

## 1. 2024年12月期第1四半期の業績（2024年1月1日～2024年3月31日）

（1）経営成績（累計）（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期第1四半期	901	△18.2	5	△95.4	17	△87.1	10	△88.3
2023年12月期第1四半期	1,101	15.0	121	23.5	133	21.9	89	25.7

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年12月期第1四半期	1.75	—
2023年12月期第1四半期	14.94	—

## （2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年12月期第1四半期	6,410	3,050	47.6
2023年12月期	6,718	3,219	47.9

（参考）自己資本 2024年12月期第1四半期 3,050百万円 2023年12月期 3,219百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年12月期	—	0.00	—	30.00	30.00
2024年12月期	—				
2024年12月期(予想)		0.00	—	30.00	30.00

（注）1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2. 2023年12月期期末配当金の内訳 普通配当20円00銭 創立50周年記念配当10円00銭

## 3. 2024年12月期の業績予想（2024年1月1日～2024年12月31日）

（%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,180	4.5	170	2.2	191	0.9	126	0.1	21.10
通期	5,600	6.4	657	13.0	700	11.8	462	2.1	77.07

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年12月期 1 Q	5,999,364株	2023年12月期	5,999,364株
② 期末自己株式数	2024年12月期 1 Q	357株	2023年12月期	357株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年12月期 1 Q	5,999,007株	2023年12月期 1 Q	5,985,543株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいておりましたが、実際の業績等は、様々な要因により、大きく異なる可能性があります。また、業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料の3ページに記載した「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報等)	6
(重要な後発事象)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、所得・雇用環境の改善やインバウンド需要により緩やかな回復基調が見込まれるものの、国際情勢に起因するエネルギー資源や原材料価格の高騰などが消費者や企業の活動に影響を及ぼしており、景気の先行きは依然として不透明な状況にあります。

当社が事業展開している医療機関におきましても、新型コロナウイルス感染症の影響からの回復、正常化の動きは見えるものの、仕入価格の高騰による医業費用の増加や、医療従事者の人手不足等の影響により、経営環境は依然として不安定な状況です。

そのような環境で、2022年版「骨太の方針」で示された医療DX推進のメインテーマである「全国医療情報プラットフォームの創設」、「電子カルテ情報の標準化等」、「診療報酬改定DX」等については、2023年7月に第2回医療DX推進本部から、進捗報告と実現に向けた工程表が公表され、「電子カルテの情報共有」は2024年度中に順次運用を開始し、「質の高い医療等の提供に資することとなる」とされており、医療DXの本格的な運用開始に伴い、電子カルテシステムの新規導入やシステム更新のニーズは益々高まっております。

加えて、電子カルテシステム等の医療情報システムやクラウド技術、AIなどのテクノロジーは、社会的課題である社会保障費の抑制や医療サービスの地域格差解消、医療従事者の負担軽減や2024年4月開始の「医師の働き方改革」の支援等において、BIシステムは、病院経営を効率よく支援するためのシステムとして一層重要性が増しています。

このような状況の下、当社は新規顧客へのパブリッククラウド、グループ病院へのプライベートクラウド(※)の需要と既存顧客のリプレース需要の取り込みに注力し、医療DX関連のシステムの開発、販売、導入及び保守を継続してまいりました。また、開発・技術部門においては、顧客のニーズに沿ったシステム機能の充実と信頼性の向上という方針を継続し、システムの機能強化とバージョンアップを促進するとともに、先進的なテクノロジーを使った医療プロジェクトを強化し、顧客満足度の向上に努めてまいりました。

以上の結果、当第1四半期累計期間の業績は、売上高901,648千円(前年同四半期比18.2%減)、営業利益5,563千円(前年同四半期比95.4%減)、経常利益17,166千円(前年同四半期比87.1%減)、四半期純利益10,475千円(前年同四半期比88.3%減)となり、前年同四半期比で減収減益となりました。減収減益の理由は、顧客の稼働時期の希望が当第2四半期以降に集中しているためです。また、受注高は1,441,312千円(前年同四半期比73.8%増)となり、当第1四半期累計期間における売上・受注は、ともに計画通り堅調に推移しております。

(※)パブリッククラウド：外部のデータセンターを利用してアプリケーションを使用すること

プライベートクラウド：同一医療法人内ワンサーバーでのクラウド環境でアプリケーションを使用すること

なお、セグメント別の業績につきましては、システム事業の単一セグメントであるため、記載を省略しておりますが、受注実績及び販売実績を種類別に示すと、次のとおりであります。

①受注実績

種類別	当第1四半期累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)			
	受注高(千円)	前年同四半期比(%)	受注残高(千円)	前年同四半期比(%)
ソフトウェア	1,075,093	202.1	2,046,316	182.9
ハードウェア	366,218	123.2	818,770	156.9
合計	1,441,312	173.8	2,865,087	174.6

②販売実績

種類別	当第1四半期累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)	前年同四半期比(%)
	販売高(千円)	
ソフトウェア	323,282	67.0
ハードウェア	190,788	75.5
保守サービス等	387,577	105.7
合計	901,648	81.8

## (2) 財政状態に関する説明

### (資産)

当第1四半期会計期間末の総資産は、前事業年度末に比べ、流動資産が316,886千円減少、固定資産が8,254千円増加した結果、308,632千円減少し、6,410,096千円となりました。流動資産の減少は、主に現金及び預金が502,657千円増加したものの、受取手形及び売掛金が983,729千円減少したことなどによるものです。一方、固定資産の増加は、主に投資その他の資産が17,257千円増加したことによるものです。

### (負債)

当第1四半期会計期間末の負債は、前事業年度末に比べ、流動負債が134,530千円減少、固定負債が4,607千円減少した結果、139,138千円減少し、3,359,918千円となりました。流動負債の減少は、主に支払手形及び買掛金が169,803千円減少したことなどによるものです。一方、固定負債の減少は、長期借入金が4,380千円減少したことなどによるものです。

### (純資産)

当第1四半期会計期間末の純資産は、前事業年度末に比べ、169,494千円減少し、3,050,177千円となりました。その要因は、四半期純利益10,475千円の計上、配当による利益剰余金の減少179,970千円によるものです。なお、自己資本比率は47.6%となりました。

## (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

わが国の社会・経済活動は、所得・雇用環境の改善やインバウンド需要により緩やかな回復基調が見込まれます。医療業界におきましては、2022年10月に医療分野のデジタル化を国策として推進する「医療DX推進本部」が設置され、また、2023年には電子処方箋の運用、オンライン資格確認の本格運用が始まり、医療情報利活用に向けた基盤整備の重要性が益々高まっています。当社は、医療IT企業として、国のデジタル化推進方針に基づく医療政策、各都道府県の掲げる地域医療構想に対応した医療のICT化、医療DXの推進を図ることにより、更なる医療への貢献を目指してまいります。

このような事業環境の下、当第1四半期累計期間においては、添付資料の2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(1) 経営成績に関する説明」に記載のとおり、前年同四半期比で減収減益となりましたが、売上・受注は、ともに計画通り堅調に推移しております。2024年12月期第2四半期累計期間及び通期の業績につきましては、現時点において2024年2月13日に公表しました業績予想から据え置いております。

※業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおりますので、実際の業績等は今後の業況の変化等により上記予想数値と異なる場合があります。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年12月31日)	当第1四半期会計期間 (2024年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,922,125	3,424,783
受取手形及び売掛金	1,811,838	828,108
商品	280	314
仕掛品	76,822	237,107
貯蔵品	613	581
その他	67,252	71,149
流動資産合計	4,878,931	4,562,045
固定資産		
有形固定資産		
土地	770,309	770,309
その他(純額)	282,796	276,939
有形固定資産合計	1,053,105	1,047,249
無形固定資産		
投資その他の資産	39,838	36,690
投資その他の資産		
投資不動産(純額)	562,002	559,950
その他	184,851	204,160
投資その他の資産合計	746,853	764,111
固定資産合計	1,839,797	1,848,051
資産合計	6,718,729	6,410,096
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,219,640	1,049,837
短期借入金	1,150,000	1,150,000
1年内返済予定の長期借入金	17,520	17,520
未払法人税等	125,133	30,700
賞与引当金	-	72,000
その他	333,408	391,114
流動負債合計	2,845,702	2,711,171
固定負債		
長期借入金	162,060	157,680
退職給付引当金	311,506	315,062
役員退職慰労引当金	149,572	146,518
その他	30,214	29,485
固定負債合計	653,354	648,746
負債合計	3,499,056	3,359,918
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	442,250	442,250
資本剰余金	303,400	303,400
利益剰余金	2,474,314	2,304,820
自己株式	△293	△293
株主資本合計	3,219,672	3,050,177
純資産合計	3,219,672	3,050,177
負債純資産合計	6,718,729	6,410,096

## (2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)	当第1四半期累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)
売上高	1,101,645	901,648
売上原価	747,748	645,698
売上総利益	353,897	255,950
販売費及び一般管理費	232,579	250,386
営業利益	121,317	5,563
営業外収益		
受取利息	9	10
受取賃貸料	20,494	19,443
その他	202	729
営業外収益合計	20,705	20,183
営業外費用		
支払利息	1,139	1,125
賃貸費用	7,816	7,455
その他	0	-
営業外費用合計	8,956	8,580
経常利益	133,067	17,166
税引前四半期純利益	133,067	17,166
法人税、住民税及び事業税	63,012	26,141
法人税等調整額	△19,398	△19,451
法人税等合計	43,614	6,690
四半期純利益	89,452	10,475

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

**【セグメント情報】**

前第1四半期累計期間(自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)及び当第1四半期累計期間(自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)

当社の事業は、システム事業の単一セグメントですので、記載は省略しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。